

龍郷町立秋名小学校

～奄美島唄・三線・太鼓(チヂン)の演奏～



島唄は，日本本島の民謡では「逃げ」として避けられる裏声による発声を多用し，胴に蛇皮を貼った三線と呼ばれる楽器で演奏される。島唄のシマとは，奄美において「集落」や「生まれ育った故郷」を意味する。島民たちにとって，島唄とは日々の暮らしにとってなくてはならないものである。

学習発表会で発表の場を設定し，スポーツ・カルチャー秋名っ子クラブで練習を行っている。島唄・三線の指導にあたっては，奄美大島在住の唄者に指導をいただき，太鼓(チヂン)は保護者を指導者として招聘している。

学校と地域が協働して島唄・三線・太鼓(チヂン)を伝承していくために，学校(担当)と唄者・地域・保護者の連絡を密に行っている。また，学校で発表(学習発表会)するだけでなく，地域で行われる様々な行事にも，積極的に参加させるようにしていきたい。